

人材育成部会児童ワーキンググループにおける検討状況について

1 経緯

相談支援従事者研修専門コース別研修については、平成26年11月に人材育成部会でまとめた「北海道における障害福祉サービスに従事する人材育成のあり方」において、障害福祉に従事する者が必要な内容の研修を段階的に受けることができるよう相談支援従事者研修（基礎研修）を受けた後の研修として実施することとしたところ。

専門コース別研修のうち障害児支援コースについては受講ニーズが高いことから、平成27年度第2回人材育成部会において、平成28年度中の実施に向けワーキンググループを立ち上げ、その実施方法について検討する事となった。

2 実施状況

相談支援従事者研修専門コース別研修（障害児支援）の実施に向け、平成27年12月9日から4回にわたりワーキンググループを開催し、その内容について検討してきた。

3 構成員

氏名	所属
日置 真世	人材育成部会員
大久保 薫	人材育成部会員
道下 康子	地域づくりコーディネーター
佐藤 直美	地域づくりコーディネーター
小野 尚志	地域づくりコーディネーター
葛岡 亮	北海道通園センター連絡協議会
菅原 順	北海道通園センター連絡協議会

4 検討結果

人材育成部会において開催することが決定された、相談支援従事者研修 専門コース別研修（障害児支援）について、次の内容により開催することを決定した。

(1) 実施年月日、場所

平成28年10月7日（金）9：00～17：00 道庁別館地下第1会議室

(2) 対象者

相談支援従事者であり、障害児相談支援に従事している者又は、従事する予定の者。

(3) 研修の目的

障害児相談特有の視点に立ったアセスメント等の支援を行うことができるようになること。

(4) 実施方法（概要）

ア 演習において、本人役及び関係者役に対する2回の模擬面談を行い、アセスメントを実施する。また、そのアセスメントに基づき、障害児通所支援計画における総合的な援助の方針、長期目標（大きな目標）、短期目標（小さな目標）及び支援チームの構成員を検討する。

演習終了後は、事例提供者による解説をシンポジウム形式で実施する。

イ 演習で扱う事例は、「重症心身障がい児」、「幼児期の児童」、「小学校高学年の児童」、「高校2年生の児童」の4事例を用意し、受講生に選択していただく。

ウ 演習では、基本情報シート、アセスメントシート、ADLに関連する情報を配付し、それらを基にして模擬面談での質問事項を検討していただく。

(5) 受講者の募集等について

8月下旬～9月上旬 募集開始

9月中旬 受講者の決定

10月7日 研修実施